



健康な歯を守っていこうとする幼児を目指して ～生きる力を育む歯・口の健康づくり～

宮城県 松島町立松島第一幼稚園

本園は、日本三景松島の中に位置し、目指す幼児像を「健康で元気な笑顔あふれる子ども」「すなおで思いやりのある子ども」「自分で考え行動し、自分を表現できる子ども」としています。

歯と口の健康づくりにおいては、町内の松島第五幼稚園や関係機関と連携しながら取り組んでいます。以下、令和5年度の主な取り組みをまとめました。

ぴかぴかの日

健康な歯を守っていこうとする幼児の育成を目指し、毎月18日を「ぴかぴかの日」と設定し、様々な活動に取り組んだ。



わんぱく教室（年長児）

町の歯科衛生士・栄養士の指導のもと「食の大切さ」「むし歯の予防の大切さ」「歯磨きの仕方」を学んだ。



「118（いい歯）の日」の掲示物の作成

11月8日の「いい歯の日」に合わせて、歯磨きの大切さを知り、歯について興味関心がもてるよう、歯の健康についての掲示物を作成した。



咀嚼チェックガム

保育参観日に、噛むことで色が変わる「咀嚼チェックガム」を使用し、親子で噛む力のチェックを行った。



さつまいもの栽培

食べ物と体の関係を知り、意欲的に食べる姿に近づきたいと思い、サツマイモの栽培を計画した。



絵本コーナーの設置

幼児に関心をもってほしいと思い、むし歯や歯磨きに関する絵本コーナーを廊下に設置した。

